

技術立国日本が今後も成長していくためには、組織内のガバナンス、マネジメントが重要であることは言うまでもない。ただ、多くの組織においてイノベーション(技術革新)が必要な時代になっているにもかかわらず、新たな変革についていけない組織が多く存在する。

その要因は、人間の心理的側面に起因するものである。ボストンコンサルティンググループは成長を阻害している要因を「チェンジ・モンスター」として説明している。

組織には七つのモンスターがいるという。まずのタコツボドン。自分の担当を

元氣をつくる マネジメント力

④

チェンジモンスター

内での評価を非常に重視し、社内ですべての行動の焦点を合わせる。「業務、社内での反応は上々です。このままでもうまくいくはずだ。③カコボウレイ。かこの手で改革を回さなければならない。④カコボウレイ。かこの手で改革を回さなければならない。⑤カコボウレイ。かこの手で改革を回さなければならない。⑥カコボウレイ。かこの手で改革を回さなければならない。⑦カコボウレイ。かこの手で改革を回さなければならない。

越えた視野を持つことを拒否しない、決断できない。足りないよ」

否し「よき者」の関与を否「先代会長が手塩にかけた事業を君はどうしよう」とい

定する。「それはうちの部

署とは関係ない」「ご報告

はありますが、それは本

来うちのやるべき仕事なの

で後はお任せください」

次に②ウチムキング。社

た事業などは、どんなに業績が悪くても撤退を議論で

い。それに忙しくて人手が

これらモンスターが多い

カーとの交渉は経営幹部が

トヨタ自動車や部品メー

長)

臨時掲載

組織では成長を阻害し新たなイノベーションは発生し

て150台が3カ月で完売

したそうだ。

この事例では、商品開発

に当たって、七つのモンス

ターが発生しない組織づく

りが行われている。それを

リードしたのは経営幹部、

そして販売店だった。男性

の製品開発が優先される車

社会にあって女性ならではの

の発想・販売が功を奏した

格好だ。

モンスターを発生させな

いたためには組織の意識改革

も不可欠だ。組織改革によ

る真のイノベーションを現

現しよう。(森川富昭・徳

島大学病院情報センター部